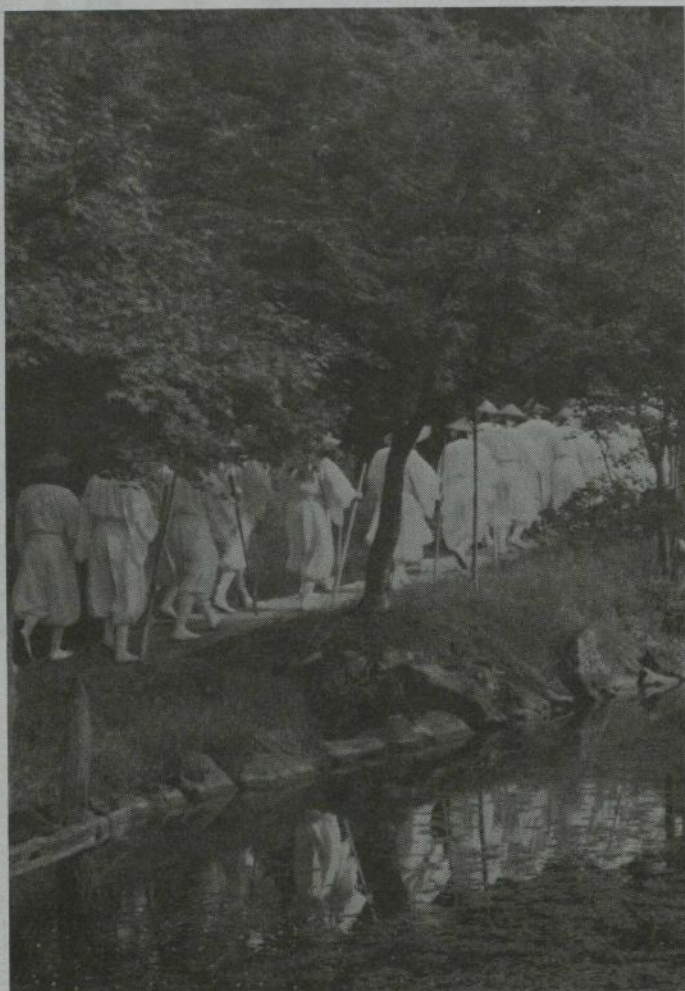


全仏

7 / 55



全仏の役割

お釈迦様が逝って約二千五百年
全仏加盟宗派だけでも、六十五宗
派、WFB加盟各国の分もいれる
と百宗派を超えるのではないでし
ようか。これだけ多くの宗派がで
き、それぞれ所依の経典をいただ

き、布教にあたっている現況を見
るにつけ、全仏のあるべき立場を
厳しく考えさせられます。

最近では、同和問題、ルンレニ
園開発問題、宗教法人法問題など
全仏が率先して取り組まねばなら
ないことが次々とおこり、全仏の
機構改革と合わせて担当部にて真
剣に取り組んでいます。

本年秋に行なわれます全仏大会
のテーマも、全仏の本来あるべき
姿を、真剣に議論していたげる
方向で検討がなされており、二十
一世紀にむかって私達一人一人
が、仏教徒の自覚をもう一度考え
なおし、真に人間の依りどころと
できる仏教会にしたいと願ってお
ります。(N)

行

シリーズ④

繞堂行 (真言宗智山派)

(解説8面に)

全日本仏教会

第13回 WFFBタイ大会

日本代表に上野全副会長ら

既報のとおり、第十三回世界仏教徒会議(WFFB)は、十一月二十一日から二十九日にかけてタイ国のバンコクおよびチェンマイで開催される。日本からは、代表に全仏・上野頼栄副会長(真言宗智山派管長)以下五名が出席。その他(記念ツアーのビルマ、ネパール両仏道巡拝団も、非公式オブザーバーとして、バンコクでの開会式に出席する。

タイ国でWFFB大会が開かれるのは、第五回、第八回、第十一回について、実に四回目の開催となる。今大会はタイ仏



尖塔が立ちならぶ開催国のタイ

教会とタイ仏教青年会が担当して行なわれるが、現在WFFB本部もバンコクにあり、一致協力して準備をすすめている。WFFB加盟センターは、世界二十七カ国、六十四センターで、今大会には約四百名の代表、オブザーバーの参加が予定されている。

大会テーマは、ホスト国であるタイ側より「世界社会に貢献する仏教の役割」が提出されており、ほぼ了承された。また、大会の細部についての審議は、七月三十一日にバンコクで開かれる予定のWFFB執行委員会で行なわれるが、同委員会には日本より鎌田良昭執行委員(全仏国際部長)が出席する。

日本代表団の人選については、国際専門委員会などに諮り協議され、日本正式代表として全仏・上野頼栄副会長(智山派管長)と日野照護事務総長、正式オブザーバーとして、松壽弘道師、佐藤良純

師(ともに国際専門委員)、山本杉全日仏婦理事長が決定している。

また、WFFB本部役員として、崎端正浩財政委員長(全仏理事長)、鎌田良昭執行委員も同じく出席する。なお、同時に開催される世界仏教青年連盟(WFFBY)の第四回大会には、日本WFFBY代表として永倉嘉文全日仏書理事長など四名が出席することになっている。

大会日程

十一月二十一日 終日各代表団到着。午前中WFFB執行委員会。午後WFFB実行委員会。

十一月二十二日 午前中各代表登録、WFFB全体会議。午後WFFB大会開会式。十一月二十三日 午前中仏教講演。午後寺院参拝。夕方タイ仏教会主催の歓迎夕食会。

十一月二十四日 チェンマイへバスで移動。

十一月二十五日 午前中WFFBY常設委員会、比丘への施食供養。午後WFFB第一回総会。

十一月二十六日 午前中WFFB常設委員会、WFFBY第二回総会。午後WFFB

常設委員会。

十一月二十七日 午前中WFFBY常設委員会、Y第三回総会、Y閉会式。午後寺院参拝。

十一月二十八日 午前中WFFB第二回総会、WFFB閉会式、記者会見。午後寺院参拝。

十一月二十九日 比丘への施食供養のあとバスでバンコクへ。

大会記念ツアーにご参加下さい

第十三回世界仏教徒会議(WFFB)タイ大会を記念し、全日本仏教会では次のツアーを実施いたしますので、是非ご参加下さい。なお、このツアーはWFFB大会の開会式に出席します。

①ビルマの旅

期日 11月21日～28日(七泊八日)
費用 三十三万八千円

バンコクにてWFFB開会式に出席のあとにビルマ入り、ラングーン、バガンなどを巡拝するコース・募集人員四十名締切は十月三十一日、取扱いは日本交通公社。

②ネパールの旅

期日 11月21日～30日(九泊十日)
費用 三十五万五千円

WFFB大会開会式出席のあとネパールに入り、カトマンズ、ポカラなどを巡拝し、特にルンビニーを視察するコース。募集人員は三十名、締切は十月三十一日取扱いは日本交通公社。

現代世界におけるイスラム

六三二年に預言者マホメットが没すると、残されたムスリム（イスラム教徒）は長老のアブー・バクルを新しい指導者に選んだ。彼は預言者の後継者という意味でカリフと称し、これがイスラムにおけるカリフ制度の始まりである。正統派イスラムの教義では、カリフは、マホメットの併せ持った宗教的権限と政治的権限とのうち、後者を継承したものとされる。これはイスラムの君主論の根幹にかかわる問題で、この点をめぐり、正統派とシーア派とは鋭く対立する。

イスラムを奉ずるアラブは、カリフの指導のもとに大規模な征服に乗り出し、八世紀の初めには、西はイベリア半島から東はアフガニスタンに至る廣大イスラム帝国を建設した。征服それ自体は、必ずしも原住民の改宗を目的としたとは言いがたいが、建設された帝国において、イスラムのシャリーア（神が人類に授けた規範）の支配が確立されていたために、原住民のイスラムへの改宗は、徐々にあるが確実に進んだ。帝国の崩壊のあと、このような新改宗者であるイラン人、トルコ人などが次々に国を建て、イスラム世界が拡大されていったのも、同じ理由によることである。

このようにして、現在、イスラムの世界は大西洋岸のモロッコ、セネガルから中東諸国を経て、インド亜大陸、インドネシアの島々に広がり、全世界

のムスリムはほぼ五億五千万人以上と推定されている。ちなみに、現在ムスリム人口の最も多い国をあげると、インドネシア、パキスタン、バングラデシュ、インドの順であり、この四方国のムスリムだけで優に二億五千万人を越える。イスラムは文字通り世界宗教であり、イスラムと言えは砂漠の宗教と考えるのは、現在では時代錯誤のそしりを免れない。

正統派とシーア派

他の宗教と比べたイスラムの特徴の一つに、宗派の分立の少ないことがあ

る。九世紀の後半、第十二代目のイマームは姿を隠し、最後の審判の日に再臨して、地上に正義と公正を實現すると信じる。

イマームの不在中は、資格を認められた高徳の宗教指導者が、その権限を代行する。現在のイランでは、このような宗教指導者は十数名のアヤトラで、その代表的人物がホメイニ師である。師が現在のイランでカリスマ的権威を認められているのは、このようなシーア派独特の信仰に由来する。

イスラムの国々

(下)

中央大学教授 嶋田襄平

イスラムと政治形態

げられよう。全世界のムスリムは、大別して正統派とシーア派とから成り、ほぼ九割が正統派、一割がシーア派に属し、シーア派信徒の大部分はイランとイラクとに住む。

シーア派の信するところによれば、マホメットは生前、彼のいとこで娘フアーティマの夫のアリーを後継者に任命した。従って、アリーおよび彼の子孫であるイマームが、イスラム世界の真の指導者でなければならない。正統派の教義と違って、シーア派はイマームを、マホメットの宗教的権限と政治

ホメイニ師は原始イスラムへの回帰を主張するが、もちろん、同じような主張は正統派にもある。その代表的なもの、十八世紀の半ば、「コーラン」の教えは文字通り遵守しなければならないと説いたワツハブで、彼はその主張の表現のためにサウード家と結んだ。これが現在のサウジアラビア（サウード家のアラビア）王国の起源で、現在、同国において禁酒、両手の切断の刑などが行なわれているのは、ワツハブの教えを忠実に履行しているからである。

サウジアラビア王国は、宗教と政治との結びつきの一つの典型的な例であるが、一九二九年、「コーラン」を憲法とするイスラム国家建設を唱えてエジプトで始められたムスリム同胞団の運動も、同じイスラム本源主義を現実政治のうえに実現しようとする動きであった。ムスリム同胞団はナセルによって弾圧されたが、他のアラブ諸国に勢力を拡大していった。

イランのイスラム共和国に先立ち、パキスタンは一九四七年にイスラム共和国を宣言した。パキスタンは、イスラムという国家の宗教と共和国という政治形態とが両立しうることを発見した最初の国である。しかし、建国以来三十年以上を経たにもかかわらず、パキスタン・イスラム共和国の理想の實現は、まだ暗黒模索の中にあると言えよう。

一九二三年に共和国宣言を行なったトルコは、政教分離の原則に基いてイスラム法を廃止し、民法にスイス法典を採用した。しかしトルコ人は信仰としてのイスラムを放棄したのではなく、政治・社会制度と宗教との特殊なかわり合いを放棄したのである。第二次世界大戦後、トルコ政府は公立学校におけるイスラム教育の復活に踏み切り、アンカラ大学には神学部が開設された。トルコ人の心の中にイスラムの信仰が今後も長く生き続けることは、疑う余地がない。

海外布教の現況と展望

③

浄土宗

推進役に振興協会

浄土宗の海外開教は、八十数年の歴史をもち、ハワイをはじめ北米、台湾、樺太などで活発に行なわれたが、第二次大戦により大陸や台湾などの開教区は潰滅した。

戦後はハワイ、北米の開教区はそれぞれ開教使の献身的な努力により今日まで活躍を続け、また南米においても開教使の殉教精神によって新しい芽が吹き、あらゆる苦難を超えて教線を拡張してきたのである。

戦前と戦後ではおのずから開教区の性格に大きな変化があり、その開教対策も新しい時代へと向っており、浄土宗海外開教区それぞれの立場から現況と展望について記すことにする。

ハワイ開教区

常夏の島ハワイは、各国からの観光客が絶えないが、特に日本から訪れる人々は近年ますます多くなっている。

しかし、日本人が明治初年に移民した当時は、労働者としてあらゆる苦難に耐えた。このようなき浄土宗では、他宗派に先がけて、ハワイの本格的な布教に乗りだし、彼らの心に浄土信仰を芽ばえ

させ、ハワイ開教の第一歩をふみだしたわけである。

現在では日系人も全人口の二十五パーセントを占め、政治、経済、教育などの各分野においてめざましい活躍をしており、他にも社会の中で有力な地位を保っている。このような日系人の活躍と、八十数年の開教の歴史的背景に活かされてハワイ開教区は安定しているとはいえず、過疎、過密といわれる人口移動や、二世三世の信仰意識、言葉の問題など苦勞の



苦難を超えて布教する南米開教区

種はつきない現況であるが、昨年八月、ハワイ開教八十五周年を記念して大法要を厳修し、今一層の発展を誓った。

北米開教区

北米における開教は、初代北米開教総監野崎雷海上人が昭和三年に、宗門より米国留学を命ぜられたときで、ハワイに立ち遅れること四十数年、また各宗の北米開教に二十数年の遅れをとり、各宗では布教活動が軌道に乗りつつある時期であった。

野崎師によって始められた家庭布教は昭和十一年ロスアンゼルス市東一番街に飯会堂設立の運びとなり、北米浄土宗教会が発足。戦争のため閉鎖されたが、野崎師は無一文から再出発し、昭和二十四年ロスアンゼルス市の西シェファーンソン街に「北米浄土宗別院」を設け、各付属団体も結成され軌道に乗った。しかし、黒人暴動を機に日系人が移動し、現在の別院周辺は黒人街と化している。

この状態では、布教活動に支障をきたし、別院の移転も考えられるが、諸問題が多く一般には踏切れない状態である。

南米開教区

南米には十カ国あるが、そのうち日本人が移民し、何らかの形で仏教が伝わっているのは数カ国である。しかも仏教が現地社会に伝わり受け入れられつつある

のはブラジルのみといってもよい。また現実に南米在住の日系人の八十五パーセント以上はブラジルに居住し、仏教の布教もほとんどブラジルが中心である。

現在ブラジルには「ブラジル仏教連合会」が公認団体として登録され、東西本願寺、曹洞、浄土、日蓮など七宗がメンバーとなっている。これら各宗の開教は昭和二十七年―三十年頃で、日本人移民と仏教開教との間には、約四十五年の空白があるが、これは昭和二十一年まで方ソリックを国教として、他の宗教を認めなかったことがあげられる。

浄土宗でも、戦後に長谷川良信師の努力により、その基礎を築きあげてきているが、現在、戦前より苦勞した日系の人々の中には「戦後、日系人が成功してから、このことやってきて、多額の寄付をもってゆくと」の感情があり、他の開教区にみられない困難な厳しい事実もある。

こうした現況の中で、長谷川師のあとを佐々木開教総監以下、開教諸師が熱意をもって布教にあたっている。

開教振興協会

浄土宗では、昭和五十一年、開教八十年を期して浄土宗開教振興協会を設立し、開教の苦闘を支えるべく、物心両面にわたっての支援対策を軌道にのせ、着々と実績をあげている。特に現状を直視しながら、新しい時代感覚をもって、変転する時代に対応できるような振興方策を検討し、なお一層の努力をしなくてはならない。

暑中お見舞い申し上げます

曹洞宗宗務庁

管 長 秦 慧 玉	宗務総長 岡 田 巳 成	参 議 谷 北 俊 龍	" 梅 田 信 隆	教 学 部 長 田 中 亮 三	総 務 部 長 阿 部 博 邦	財 政 部 長 大 竹 明 彦	人 事 部 長 蔵 山 光 堂	伝 道 部 長 乙 川 良 英	教 化 部 長 朝 日 泰 峯	出 版 部 長 小 川 義 道	東 京 都 港 区 芝 二 一 五 一 二 〒 105 〇 三 (四 五 四) 五 四 一 一
-----------	--------------	-------------	-----------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	--

浄土真宗本願寺派

門 主 大 谷 光 真	総 長 豊 原 大 潤	総 務 川 野 三 暁	" 渡 辺 静 波	" 藤 音 晃 祐	" 平 興 誓	" 大 河 内 浩 爾	京 都 市 下 京 区 堀 川 通 花 屋 町 下 ル 本 願 寺 門 前 町 〒 600 〇 七 五 (三 七 一) 五 一 八 一
-------------	-------------	-------------	-----------	-----------	---------	-------------	---

浄土宗宗務庁

浄土門主 高 畠 寛 我	宗務総長 武 田 脩 彦	総 務 局 長 水 谷 激 道	数 学 局 長 大 田 秀 三	財 務 局 長 前 田 秀 導	社 会 局 長 飯 田 信 弘	宗 務 所 長 野 村 宗 春	総 長 公 室 長 小 口 輝 雄	宗 務 長 京 都 市 東 山 区 林 下 町 四 〇 〇 〒 605 〇 七 五 (五 二 五) 二 二 〇 〇	東 京 支 所 東 京 都 港 区 芝 公 園 四 一 七 一 四 〒 105 〇 三 (四 三 六) 三 三 五 一
--------------	--------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------------	---	---

妙見宗宗務本庁

管 長 野 間 秀 泉	宗務総長 勝 森 恵 浄	大 阪 府 豊 能 郡 能 勢 町 野 間 中 七 一 八 〒 563 - 01 〇 七 二 七 (三 二 七) 〇 〇 二 八	念 法 真 教 教 団 総 本 山 金 剛 寺	灯 主 小 倉 靈 現	大 阪 市 鶴 見 区 緑 三 十 四 一 三 二 〒 538 〇 六 (九 一 一) 二 二 〇 一
-------------	--------------	---	----------------------------	-------------	--

暑中お見舞い申し上げます

日蓮宗宗務院

管 長 金子日威
 宗務総長 松村寿顕
 副総務長 吉田文堯
 総務部長 金山寛成
 庶務部長 渋谷直城
 財務部長 石井隆教
 教務部長 風間円静
 護 法 伝道部長 米田淳雄
 遠 忌 事務局長 持田貫宣

〒146 東京都大田区池上一三十五
 〇三(七五)七二八

高野山真言宗 総本山金剛峯寺

座主・高峰秀海
 宗務総長 阿部野竜正
 副総監 麻生恵光
 総務部長 盛川光範
 財務部長 稲葉義猛
 山林部長 伊勢木俊範
 教学部長 大月俊信
 法会部長 辻徹秀

和歌山県伊都郡高野町高野山
 〒648-02 〇七三(五六)二〇一一

真言宗国分寺派 大本山国分寺

座主 西口公教
 宗務総長 足立有教
 秘書室長 合田和教

大阪市淀川区国分寺一の六の六
 〒531 〇六(三五)五六三七(代)

真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所

管 長 上野頼栄
 聖 観 音 宗
 金 龍 山 浅 草 寺
 宗務総長 大森亮雅

〒605 京都市東山区七条東瓦町九六四
 〇七五(五四)五三六一

〒111 東京都台東区浅草二一三一
 〇三(八四)〇一八一

暑中お見舞い申し上げます

真言宗豊山派宗務所

管長 川田聖見

宗務総長 林亮海

総務部長 久保埜太清

教化部長 門屋大寿

教務部長 吉田俊誉

財務部長 岩脇宏信

弘法大師千五百年

御遠忌記念事業事務局

東京都文京区大塚五の四〇の八
〒112 〇三(九四五)〇六三九

総本山醍醐寺 真言宗醍醐派宗務本庁

管座主 岡田有秀

執行長 岩城秀雄
宗務総長

庶務部長 大沢自聚

教行部長 斎藤明道
教務部長

執務部長 水守俊英
財務部長

京都市伏見区醍醐東大路二二
〒601-13 〇七五(五七一)〇〇〇二

北海道仏教会連盟

会長 日野賢憬

副会長 大内察爾

松井義海

北海道札幌市中央区南七条西七丁目
(大谷派北海道教務所内)
〒064 〇一一(五一)五二二

財団法人

埼玉県佛教会

会長 岩崎鳳栄

副会長 山本道隆

江連俊則

常務理事 河野亮永

浦和市高砂四一十三一十八
埼玉会館
〒336 〇四八(八六一)二二三八

京都市仏教会

会長 伴義台

副会長 横井鶴洲

葉上照澄

理事長 小林忍戒

事務局長 宮城泰年

京都市中京区東海院通三条下ル
住心院内
〒604 〇七五(二二)八五九八

財団法人

国際仏教興隆協会

理事長 巖谷勝雄

役員 一同

東京都目黒区中目黒五一四一五三
祐天寺内
〒153 〇三(七一)七六〇八

暑中お見舞い申し上げます

青森県仏教会

会 長	本間 義博
八戸 仏教会長	上田 頼石
西北五	小山田 鳳隆
南黒	村田 孝憲
弘前	藤野 護
上北	飯田 吉盛
下北	関 修明
三戸	岩間 文雄

青森市本町一―五―五蓮心寺内
〒030 〇一七七(七六)三八七二

茨城県仏教会

会 長	大越 孝仁
副会長	秋本 義雄
"	牧田 実栄
"	小林 栄雄
"	土肥 浩
"	中村 純崇
事務局長	小原 泰寿
次 長	猪瀬 宝山
外顧問	理事 評議員一同
本部	

茨城県多賀郡十王町友部一九九〇
〒319-13 〇一九(三三)一〇五一
事務局
水戸市八幡町十一の六九祇園寺内
〒310 〇一九(二二)五三二九

兵庫県仏教会

顧問	中野 文門
"	佐藤 覚雄
会 長	小西 日静
副会長	大谷 昭世
"	雲井 弘善
事務局長	豊島 正典
事務局	小西 徹龍
"	円成 淳龍
"	青柳 泰見
"	有原 仁龍

神戸市兵庫区松本通三―一―四
法華寺内
〒652 〇七八(五二)一六六八

財団法人

日本仏教鑽仰会

理事長 中山 理々
東京都千代田区内神田二―五―十六
亀田ビル内
〒101 〇三(二五六)四九一一

真理運動本部

主 管 友松 諦道
東京都千代田区外神田
三―四―一〇 神田寺
〒101 〇三(二五一)八八四二
八六八三

近代仏教研究会

理事長 壬生 照順
事務局長 小室 裕充
東京都台東区元浅草一―十七―二
華蔵院内
〒111 〇三(八四四)三六四八

暑中お見舞い申し上げます

財団法人

仏教伝道協会

会 長 沼田 恵範
 理事長 宮本 正尊
 理事 中村 元
 雲 藤 義 道
 松 原 泰 道
 芝 原 郷 音
 高 辻 恵 雄
 沼 田 恵 範
 監 事 芝 田 徹 男
 坂 東 環 城
 三 原 信 一
 東京都港区芝四の三の十四
 〒108 ○三(四五五)五八五一

黄檗宗大本山
萬福寺

管 長 村 瀬 玄 妙

奈良県宇治市五ヶ庄三番割三四
〒611 ○七七四(三)三九〇〇

真言宗中山寺派

大本山 中山 寺

宝塚市中山寺二の十一の一
〒665 ○七九七(八六)六五一七

真言宗善通寺派
総本山 善通寺

法管 主 長 蓮 生 善 隆
 宗務 総 長 阿 部 本 宣
 執 行 長 山 地 善 真
 香川県善通寺市善通寺町六一五
〒765 ○八七七六(二)〇一一一

東京都仏教連合会

会 長 小 峰 順 譽
 理事長 桜 井 大 乘

常務理事 一同
 監 事 一同

事務局 長 畑 直 孝

東京都小平市上水南町五一
大仙寺内
〒187 ○四三三(一一)〇七五五

社団法人

全日本仏教婦人連盟

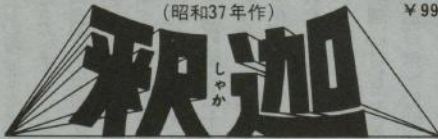
理 事 長 山 本 杉

副理事長 山 口 貴 美 子

副理事長 木 全 か づ

事務局
 東京都豊島区北大塚二一一一
 大塚プラザビル7F
 〒170 ○三(九一〇)一一八九

8ミリカラー・スコープ120分 ¥110,000 本誌読者特別価格 ¥99,000 (昭和37年作)



専用スコープ付高級8ミリ映写機発売中!!

TACNON 808-OM 標準価格 ¥125,000 特別価格 ¥98,000

- お申込みは直接郵便又はお電話で下記へ。*分割頒布も致します。
- お申込み次第発送致します。●代金は現品到着後お送り下さい。



大映映画株式会社映像事業部
 東京都港区新橋3-10-9(第5東坂ビル7F) 〒105 ☎03(436)3760-3624

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電 話 代表 (841) 4 9 6 5



自殺への指向

最近の世相の中で、自分のいのちも、他人のいのちも共に粗末にする風潮がでてくることは大変に気になることです。

物質的な繁栄のかけに宿る精神的貧困を、何とかあらためないことには、日本の将来は全く憂うべき状態になるのではないかと思われまふ。つい最近小学生の男の子が女の子を殺害するという事件すらおきています。生命の軽視が、何のためらいもなく低年齢層にも及んでいることを、どのように受けとめたら良いのでしょうか。いろいろなことが考えられましようが宗教教育の欠如がその大きな原因であることは、まちがひありません。

戦後戸籍法が変り家族制度の変化の中で核家族化が進んでまきました。日本古来の仏壇中心の家庭は崩壊され、無宗教、無信仰の日常生活の中で、生命や自然に

対する畏敬の念は自づと後退して行きました。人間の誕生も死も多くは病院の中で行なわれ、子どもたちは生や死のきびしい現実に対決することが少くなりました。映像文化の発達は、安易に殺人場面を子どもたちに提供し、テレビやマンガは、死のおそろしさよりも人を殺傷することへの興味をかり立てているようにすら見受けるのです。

又一方過熱な教育戦争の中で、エリート校を旨とする親の教育熱は、逆に子どもたちの自発的意欲を喪失させ、いきまる喜びをうばっているように思うのです。

生命尊重の保育推進のために

日本仏教保育協会常務理事 小林 竜雄

しつけきつた生命感の喪失が、こともな

く自殺を指向してしまつてはならない。単にむなく生物として生きていくことから、よく生きることへ、更に大いなるもののはからいの中で生きていく喜びを感じようになつたとき、自分も他人もともに大切にすることを、他人への思いやりの心が育っていくのだと思ふのです。

「いかせいのち」

日本仏教保育協会が五十年來、仏教保育綱領の第一に「慈心不殺をかかげ、生命尊重の保育推進を中心に「いかせいのち」

を保育のシンボルにしてみました。

さる五月二十日第十二回通常総会において、生命尊重の保育を仏教保育の原点として再確認し、更に生命尊重を国民的課題とする運動に発展させることを決議いたしました。

先に全日本仏教会は祝尊降誕の日四月八日を「生命尊重の日」として国民の祝祭日とすることを提案しています。しかしこのことは、また運動として充分に進展してないように思われます。このようなかで私たちが具体的実践の糸口を「生命尊重の保育」で進めることは意義

あることだと思ふのです。

宗教教育の必要性

「三つ子の魂百までも」と言われ、幼児の宗教的情操教育の必要性が叫ばれているにかかわらず、国民の眼は決して、宗教教育にむけられて居りません。まして行政機関としては、宗教教育についてはタッチすべからざるものとして排除し、特に具体的推進については関係者も極めて消極的にしか対処して来なかつたのが現状です。私達はこれらの諸点を大きく反省すると共に、「生命尊重の日を

単にかけ声だけに終らすことのないよう、あらためて宗教者としての責務として、その推進をはかるべきだと存じます。たまたまこのような中で、栃木県教育委員会が「生命尊重の教育推進協議会」を発足させたこと（昭五五・四・一）は特筆すべきことであります。栃木県は、学校教育・社会教育をはじめとし、各界の学識経験者二十五人に委員を委嘱して

①青少年の問題行動の傾向（低年齢化、凶悪化）とその背景についての生命尊重の教育をどう推進して行くかの二項目について協議を開始しています。生命軽視の風潮に対してその原因を掘り下げ、「生命尊重」に関する教育をあらゆる面から洗い直すと共に、予防的な対策から、教育的積極的な対策へ、どう進めるかについて、論議を深めて行くことになっていきます。小学生の殺人事件から端を発したものでありますが、大いに敬意を表すべきものであります。

このような一般的な関心の高まりは、全国的に広がりを持たせるべきであります。全日仏の提唱する「生命尊重の日」も、日仏保の提唱する「生命尊重の保育」も、共に日本の現在と未来を憂うところから来ています。そして共に、仏教精神の原点に立ちかえり、その教を今日の生かそうとする具体的な方法のあらわれです。そしてそれは現代日本の国民的な課題でもあるのです。この運動について仏教者各位の御理解と、今後の御支援御指導を、心より御願ひ申し上げます。

全仏の理事会……議案、報告事……

去る五月二十四日、午後一時より明照会館において理事会が開催され、決算、事業報告等について審議がなされた。

◎議事録署名委員選出について

田中亮三、貝山宣泰両師を選出

◎議案第一号「昭和五十四年度事業計画について」
原案通り承認。

◎議案第二号「昭和五十四年度決算報告
財務部長より報告、原案通り承認。

◎議案第三号「全仏センター設立準備委員会について」
宗派・県仏・団体から三十名位委員を推薦してもらい、早急に準備委員会を結

成することを承認。

◎報告事項

①機構改革特別委員会中間答申と同和特別委員会の現況報告について

機構改革特別委員会中間答申については豊田委員より報告、同和特別委員会については事務局より報告。

②ロンビニ復興計画並びに第十三回世界仏教徒会議タイ大会について

事務局よりロンビニ復興計画の現況、及び本年十一月にWFB大会がタイで開催されることを報告。

③専門委員改選について
任期満了に伴う各委員会委員改選につき報告、了承。

④世界宗教者会議日本委員会常任委員に理事長就任について
了承。

⑤第二七回全日本仏教徒大会について
今秋十一月二日に増上寺で開催することを報告。

⑥参議院議員選出について
了承。

⑦世界倫理会議よりの申し入れについて

全仏会長、副会長に世界倫理会議の名誉顧問就任の依頼があり、会長、副会長に直接交渉をもちょうこと了承。
この後、あらたに就任した職員を紹介し開会した。

同和特別委員会開く

第四回同和特別委員会は、去る五月二十九日(木)午後一時より、京都仏教大

え合せ、その〇のもつ歴史や意義をふまえ、仏教の空観との関係などが熱心に、仏教学者と自然科学者によって討議される。

第十三回日本仏教文化会議要項
テーマ「仏教と科学」
——零とは何か——

①数学における零の意義
②仏教の空観

期日 8月22日～23日
会場 生産性研修会館(函南町)
主催 財・全日本仏教会
財・国際仏教交流センター

第13回 日本仏教文化会議

8月22日～23日に開催

第十三回「日本仏教文化会議」は左記要項にて開催されます。

過去、「アジア開発と仏教」、「人類の未来と仏教」などのテーマにてシンポジウムがもたられた大きな成果を得てき

今回は、「仏教と科学」というテーマのもと——〇(ゼロ)とは何か——について討議する。特に〇の発見により自然科学が驚異的に進展したことを考

学会議室において、同文教短期大学学長、大橋俊有教授を講師として招き、開催された。

まず、大橋教授の講演の前に委員会が催され、各宗における同和問題に対する現状報告、ならびに「学習会」「委員会」等の予定が報告された。

大橋教授の講演は、午後二時より行なわれた。

まず同和問題に関心を持つにいたった動機等が、教授自身の経験、あるいは身の回りで起った実例をまじえながら述べられ、そのような経験、実例をふまえた上での同和問題に対する教授自身の取り組み方が、法然上人「一枚起請文」をもとに「同和教育の一枚起請文」と題して、合わせて述べられた。

出席者 王坂精道、近藤玄鶴、(代)小川純夫、(代)小川又信、(代)山田信宏、善村一観、(代)久保井恭彦、松本健雄

機構改革特別委員会

理事会へ中間答申出す

去る五月十九日午後一時より、京都智積院会館において第四回機構改革特別委員会が開催された。

この委員会では、一応の区切りとして過去三回の委員会でも種々検討したものを中間答申としてまとめ、五月二十四日の理事会に報告することとなった。今回の中間答申では、寄付行為の条文の整理及び事業計画の見直しなどがなされたが、主な内容は左記の通りである。

◎会長の職務権限について。現行の「委

嘱」を「認証」とする。
◎会長、副会長の任期。現行の二年を一年とする。

◎理事定数について、四十名〜五十名を二十名〜三十名とする。また理事・評議員の任期を二年から四年とする。

◎事業計画では、時局対策が現在組織局の所管であるが、これを総務局所管とする。

なお、今後さらに寄付行為全般についても見直しをする予定である。

△出席者▽（順不同敬称略）

小沢照禧（智山派）・豊田英世（日蓮）

阿部博邦（曹洞）・伊東康雄（浄土）

広島昭心（大谷派）・小泉宗和（藤音代理・本願寺派）

初の組織専門委員会

第一回組織専門委員会は、六月十二日午後二時より、全仏会議室において開催された。勝部組織局長挨拶のあと、新委員の紹介があり、つづいて各委員に委嘱状が渡された。

一、委員長選出について

委員長に神野真一師を再選。今年度は

全仏大会が全仏主催ということなきを念めて、委員会も多忙な年となるであろうと副委員長に河野亮水、花木義光の両師を選出した。

二、全仏大会について

第二十七回全日本仏教徒会議は、十一月一日、東京・芝の増上寺を会場に全仏主催で行なわれるが、内容などについて話し合われたが、細部については準備委員会を構成して検討することになった。

（出席者）大多喜義彦、畑直孝、神野真一、土持良栄、河野亮水

事務総局録事（六月）

六日 局内会議

十日 文化会議運営委員会

勝又俊教先生叙勲祝い出席

十二日 組織専門委員会

十三日 WCRP委員会

十六日 日宗連理理事会

十七日 関西事務局運営委員会

十九日 包括法人研究協議会打ち合せ

二十二日 局内会議

二十七日 第五回機構改革委員会

表紙の写真

続堂行

智山派総本山智積院内の智山専修学院では、毎年七月、真言宗中興の祖・興教大師の御廟所のある新義の法の故

里、紀州根来寺において「続堂行」を厳修する。これは祖山に参籠し、興教大師の御遺徳を偲びつつ、続堂・講堂・作務奉仕の三昧行に精進して、以って報恩謝徳、令法久住の信念を函養せんとするもので、「四度加行」の前行として、毎年張りつめた緊張感がある。

第13回世界仏教徒会議(WFB)タイ大会記念

WFB大会参加と

ビルマの旅

期日 11月21日～28日
費用 338,000円

成田ーバンコクー水上マーケットーWFB大会出席ーラングーンー市内観光（スーレバコダ他）ーパガーン王朝遺跡ーアーナダ寺院ーマンダレーーマンダレーヒルーラングーンーベグーバンコクー成田

●お問合せは取扱い旅行社へ

主催 全日本仏教会

（取扱い旅行社）

日本交通公社 団体旅行東京中央支店2課
東京都千代田区神田鍛冶町3-3 大木ビル4F
TEL03-257-8421

WFB大会参加と

ネパールの旅

期日 11月21日～30日
費用 355,000円

成田ーバンコクー市内観光（エメラルド寺院・王宮他）ーWFB大会出席ーカトマンズーパイラワールンビニーホカラーチベット部落ーカトマンズー市内観光（クマーリー寺院他）ーバンコクー成田

●お問合せは取扱い旅行社へ

主催 全日本仏教会

（取扱い旅行社）

千代田トラベル
東京都港区南青山5-6-20 千成ビル
TEL03-407-3612

昭和五十五年 七月一日発行
七月号 第二六〇号

発行人 日野照護
編集人 安本利正

発行所 財団法人 全日本仏教会

東京都港区芝公園四一七十三
電話〇三(四三七)九二七七